

碧南市地震対策減災計画 行動項目一覧 令和2年度各課取組内容

大項目	中項目	実施内容	所管課
(1)発災直後の命を守る対策	1－1)建物倒壊から命を守る	出前講座等を17回521名に対して実施	防災課
		耐震診断実施率R02年度60.46%(R01年度57.58%)	建築課
		住宅の耐震化率R02年度88.9%(R01年度88%)	建築課
		日常的な点検の実施。鷺塚小学校体育館、東中学校体育館外壁改修工事を実施	建築課、庶務課
		臨海公園内3橋と明石公園内5橋の床板、橋脚の目視点検を実施	都市整備課
	1－2)津波から命を守る	一時退避場所を1箇所追加(衣浦東部浄化センター)	防災課
		あおいパークにおける津波避難に関し、職員、関係事業者とマニュアルの確認	農業水産課
		日進小学校から文化会館への避難訓練を実施	学校教育課
	1－3)火災から命を守る	街頭消火器の整備を継続実施。R02年度末2,117本(R01年度末2,110本)	防災課
		市庁舎避難訓練を2回実施	資産活用課
		霞浦公園、伊勢町公園、碧南レールパーク延伸部整備完了	都市整備課
		文化会館及び各公民館において、消防訓練、避難訓練を年2回実施	生涯学習課
		事業所等への防火査察を継続実施	消防署
	1－4)液状化から自らの生活環境を守る	災害復旧協議会と訓練実施	土木港湾課
	1－5)情報不足による対応の遅れから命を守る	防災メール登録者数13,596人(R02年12月末)(前年同月比1,396人増)	防災課
	1－6)救急・救命活動の遅れによる危機から命を守る	医療救護所2箇所について備蓄医薬品の確認を年2回実施	健康課
		広域災害救急医療情報システム(EMIS)の入力訓練及び活用方法の確認を実施	健康課
		衣浦豊田線の4車線化、名古屋碧南線の整備を実施中	都市計画課
		市民病院を優先復旧する重要給水施設として継続的に位置付け	水道課、市民病院
	1－7)安全な場所に滞在できない帰宅困難者の命を守る	google mapを利用した徒歩帰宅支援マップを作成。帰宅支援ステーション及び駅でチラシ掲示を依頼	防災課
	1－8)危険物施設等の二次災害から周辺の市民等の命を守る	危険物保有施設に対する防火査察を継続実施	消防署
(2)発災から数日間程度の応急的な生活環境に対応する支援やケアの確保対策	2－1)自宅等における最低限必要な水・食料・物資を確保する	旭地区及び配水場にて応急給水訓練及び資材の確認を実施	水道課
		太陽光発電等のスマートハウス設備導入件数 155件(R03年3月末日)	環境課
	2－2)避難所等において、衛生的、文化的な最低限の生活環境を確保する	地域住民による避難所自主運営のため、ファーストミッションボックスを作成	防災課
		各避難所等に携帯トイレの備蓄開始	防災課
	2－3)保健・看護・福祉等のケア機能を確保する	福祉避難所を1箇所追加(デイサービス中山)	高齢介護課、福祉課、防災課
		無料耐震診断及び家具転倒防止事業の継続実施	高齢介護課、建築課
	2－4)病院等における医療・看護の機能を確保する	市民病院のBCP見直しを行い、BCPIに基づいた防災訓練を実施	市民病院
(3)発災から一週間程度が経過した後の、自宅や仮住まいでの生活再開及び就業環境・経済産業活動の維持のための対策	2－5)災害関連死を防止する体制を確保する		
	2－6)被災者の心身のケアのための体制を確保する	保健師災害初動時情報伝達訓練及び災害時メンタルヘルス研修参加	健康課
	3－1)市民の住まい、一時的な生活資金及び雇用・収入を円滑に確保する	税務課職員の愛知県家屋被害認定士の資格者16名	税務課
		罹災証明入力及び発行システムの確認を実施	税務課
		市職員の被災建築物応急危険度判定士の登録22名、被災宅地危険度判定士の登	建築課
	3－2)被災者の生活ニーズを把握・支援する		
	3－3)ライフライン・インフラ機能を確保する	市道港南1号線の舗装改良工事を実施	土木港湾課
		H29年度に完了した幹線配水管震災対策事業の概要及び応急給水所の位置情報をホームページに掲載	水道課
		施設長寿命化のための点検、計画に基づく更新を実施	水道課
		重要な幹線の污水管の浮き上がり防止対策を実施(12箇所)	下水道課
		新川小学校、中央小学校にマンホールトイレを設置	下水道課、防災課
	3－4)交通・物流機能を維持する		
	3－5)公共的なサービスの再開を支援する		
	3－6)安全・安心な生活環境を確保する		
	3－7)事業者の事業再開を支援する		

(4)事前に地域の対応力・回復力を強化するための対策	4－1)地域の防災力を向上させる	日進地区において、継続的に活動できる組織として地区防災委員会の設立を支援 市内小中学校にて出前講座を実施。 消防団員充足率83.9%(R2.4.1現在。H31は86.2%) 消防団員が放水、資機材取扱い、水門等の開閉、普通救命、水防訓練を実施 5歳児全員の消防署における地震体験実施 小中学校の防災教育担当者の意識向上のため、愛知県主催の研修に2名が受講 地域防災リーダー育成のため、研修を実施、延べ19人が受講	防災課 防災課 防災課 防災課 こども課 学校教育課 社会福祉協議会
	4－2)自治体間連携・関係機関・ボランティアとの応援連携活動を向上させる	災害時ボランティアセンターについて、社会福祉協議会と相互の課題等について検	地域協働課、社会福祉協議会
	4－3)産官学民連携により防災力を向上させる	受託研究員として名古屋大学への派遣人数 累計5人	防災課
	4－4)円滑な復興に向けた準備を進める		
(5)事前に産業界を災害に強くするための対策	5－1)個々の事業所の意識を向上させる	企業訪問を行い、啓発を実施(R02年度135社訪問。R01年度170社)	商工課
	5－2)地域で連携して産業基盤・インフラを強化する	衣浦港BCP協議会にて港湾関係者と意見交換、協力体制を検討	土木港湾課、防災課
	5－3)被災後の早期事業再開を支援する		
	5－4)災害情報の収集及び共有を進める	KATCH、6市及び関係機関で合同情報伝達訓練を実施	経営企画課、防災課
(6)市民生活を支える市役所機能の確保対策	6－1)行政機能を継続する	作成したファーストミッションボックスを使用した地区訓練の支援を実施 統合型GISについて運用会議を行い、利活用等の検討を実施 担当者の応急危険度判定講習の継続受講 水族館において避難誘導訓練を実施	防災課 秘書情報課 建築課 海浜水族館・青少年海の科学館
	6－2)遺体に対応する	災害時の火葬許可に関する情報収集・検討を実施 市内葬祭業者と遺体安置所に関する検討会を実施	市民課 市民課、防災課、警察署
	6－3)円滑で的確な市民の安否確認を実現する		
	6－4)関係機関との応援連携活動を向上させる		
	6－5)復旧体制を確保する		
	6－6)学校等の再開対策、文化財の被害軽減・修復について事前に準備する		
	6－7)災害廃棄物等の円滑な処理体制を整える		
	6－8)オープンスペースの確保、活用について検証する	伊勢町公園、霞浦公園にかまどベンチを設置	都市整備課